

2014年5月29日

各位

マルハニチロ株式会社  
代表取締役社長 伊藤 滋

当社グループは、『私たちマルハニチログループは誠実を旨とし、本物・安心・健康な「食」の提供を通じて、人々の豊かな生活文化の創造に貢献します。』という理念のもと、社会から求められ、信頼される企業グループを目指してまいりましたが、株式会社アクリフーズ群馬工場において、2013年末に発生した農薬混入事件により、お客様をはじめ関係各方面の皆さまに多大なご迷惑とご不安、ご心配をおかけする事態を招きました。深く反省しております。大変申し訳ございません。

この事態を受け、外部有識者からなる『アクリフーズ「農薬混入事件に関する第三者検証委員会」』（以下、第三者検証委員会）から、2014年4月30日に中間報告（以下、中間報告）を、本日2014年5月29日に最終報告（提言）をいただきました。

農薬の毒性評価の誤認を含めて危機管理に失敗したことが最大の問題であり、ご指摘いただきました「事件を招いた企業風土・背景」を真摯に反省してまいります。

また、食品企業としての使命である消費者重視の視点の認識が浸透していなかったというご指摘を真摯に受けてとめ、ミッションの再確認と浸透に全力を傾けてまいります。

現在、中間報告を受けて、再発防止策および危機管理再構築計画を策定・実施しているところであります。具体的には、2014年4月1日に社長の直轄組織として設置した「危機管理再構築委員会」において、下記の項目に対する再構築の企画検討、実施推進に取り組んでおります。

さらに、本日、第三者検証委員会よりいただきました最終報告に盛り込まれましたご指摘、提言内容を踏まえた施策につき、今後早急に検討・実施してまいります。実施内容は、逐次ご報告してまいります所存です。

いうまでもなく、安全・安心な食品をつくりお客様のもとにお届けすることが当社グループの使命です。この根本使命に私を含め、社員一人ひとりが立ち戻り、グループ一丸となって信頼回復に取り組んでまいります所存です。

当社は引き続き、商品回収に全力をあげて取り組んでまいります。  
引き続き商品回収にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 1. グループガバナンスの強化

農薬混入事件発生後、当社グループ理念から大きく逸脱する対応を行ったことは、一連の問題において最も反省すべきことと認識しております。当社グループが食品企業として社会から何を求められているかという原点に立ち戻り、グループ理念を再確認し、役職員

への定着を徹底してまいります。また、現在のグループ経営体制における責任と権限の明確化も図ってまいります。

## 2. 食品安全・フードディフェンスの再構築

当社グループで従来行っていた食品安全対策に加え、当社グループの生産拠点、物流拠点におけるフードディフェンスの取り組みとして、「外部侵入や異物混入を防止する施設整備」、「フードディフェンスルールの策定および運用」、「フードディフェンスに対する意識の醸成」および「風通しの良い職場環境の整備」の4点を実施するとともに、これらの活動を継続的に見直してまいります。

## 3. 品質保証体制の再構築

当社グループの品質保証体制を再構築するために、「品質保証関連規程類の見直しおよびグループ企業への周知徹底」、「お客様からのお申し出の中で重大案件を察知し、関係者で共有するシステムの構築」、「製品品質リスクの調査・分析・評価の定常的な実施」、「食品衛生・関係法令に関する社員教育の実施および専門家の育成」および「万一、大規模な食品事故が発生した際のマニュアル策定と定期的な現場演習」を実施してまいります。

## 4. 危機管理体制の再構築

当社グループの危機管理体制を再構築するため、食品事故を含む様々な事業上の危機的事態が発生した際の初期対応体制の整備および責任と権限の明確化を行うとともに、定期的な現場演習を実施してまいります。また、危機的事態の発生を抑制するリスクの分析および対応策の策定、およびお客様との双方向のコミュニケーションを図るなどリスクへの感度を上げる活動も行なってまいります。さらに、リスク管理と食品安全を管理強化する組織体制の再整備も検討いたします。

## 5. 労務問題の改善

当社グループの生産拠点および物流拠点における労務問題を抽出し、その改善を図るとともに、各種労務規則や労務管理手法を見直してまいります。

以上